

Maxwell[®] RSC Tissue DNA Kit (カタログ番号 AS1610) 簡易マニュアル

ご用意いただくもの

- ピペットマン (P-200、P-1000)とそれらのチップ
- ティッシュグラインダー

前処理の手順

1. 最大50mgまでの組織を準備する。
2. 80 μ lのTE bufferを加える。
3. ティッシュグラインダーを用いて、組織サンプルを完全にすりつぶす。

カートリッジの準備

1. 検体数分のカートリッジをMaxwell[®] RSC/CSC Deck Trayに立て、順にアルミシールを剥がす。
カートリッジの両端がカチッというまで、しっかりとセットする
注意：サンプル数が16より少ない場合には、Maxwell[®] RSC/CSC Deck Trayの中央部分をお使いください。
2. 同数のElution Tubeをセットし、100 μ lのElution Bufferを加える。
Elution Bufferは60~150 μ lを加えることができます。ただし、60 μ lの場合、磁性ビーズの持ち込みの割合が高くなります。Elution Bufferのボリュームを増やすことによりキャリーオーバーを減少させることができます。
Elution Tubeのフタは絶対に閉めないでください。
3. カートリッジのウエル8に、プランジャーを置く。



4. 調製したサンプルを、カートリッジのウエル1に添加する。その後、10回以上のピペッティングにより、完全にウエル1での攪拌を行う。

ウエル1は最も大きなウエルです。カートリッジラベルに一番近く、Elution tubeからは最も遠い位置にあります。

5. Maxwell RSC Instrumentを起動し、STARTから『Tissue DNA / AS1610』を選択する。
6. Maxwell[®] RSC/CSC Deck Trayを、Maxwell[®] RSC本体にセットし、精製操作をスタートする。

精製終了後の操作

1. Maxwell RSC[®] Instrumentのドアを開け、Elution Tubeのフタを閉める。
2. Maxwell[®] RSC/CSC Deck Trayを取り出し、Elution Tubeを適切に保管する。
3. Maxwell RSC[®] Instrumentのドアを閉める。カートリッジとプランジャーを廃棄する。

備考：

- 精製工程が終了後、Elution Bufferの量は約10~20 μ l程度減少します。
- Elution Tube内に、磁性体ビーズはいくぶん残存します。Elution Bufferの量を増やすことにより、残存量を軽減できる可能性があります。